

管内文化財の紹介～その1～



長野県宝 きゅうまじまけじゅうたく 旧馬島家住宅（伊那市高遠町東高遠）

旧馬島家住宅は天保年間(1830～43)に建築された武家住宅です。馬島家は享保年間(1716～35)の頃から幕末にかけて高遠藩の眼科の御殿医だった家柄で一般的な武家屋敷の間取りのほかに診察室や調薬室を設けるなどの特徴を持っています。木造平屋建て、本棟造り及び長野県内に残る希少な武家住宅のひとつで藩医という特殊な役目を担っていたことから、長野県宝に指定されました。